

J A あわ市職員2名が全国表彰



土井 哲さん

○ 営農指導課 土井 哲(どいさとし)

令和5年2月16日、第7回JA営農指導実践全国大会が東京都内で開催され、全国8地区から代表として推薦された8人のJA営農指導員が事例を発表。徳島県で初めて四国地区の代表として出場した、JAあわ市の土井哲さんが最優秀賞を受賞しました。

土井さんは、JAあわ市を「西日本随一の夏秋ナスの産地」にすることを目指に、生産部会や肥料の統一などに取り組んだことを発表しました。

資材の統一でコストダウンを実現し、新部会の生産量は県内の約6割を占め市場からの信頼も向上した。「営農指導はJAの根幹。われわれが屋台骨であるという強い気持ちで取り組んでいきたい」と話した。



横山浩祐さん

○ 購買課 横山浩祐(よこやまこうすけ)

同日、「第14回JA戦略型中核人材育成研修全国研究発表会」が開催され、徳島県代表として出場したJAあわ市の横山浩祐さんが優秀賞を受賞しました。

横山さんは、JAあわ市の現状と課題から「営農経済渉外員」が地域農業に果たす役割の重要性などをまとめた論文を発表しました。「組合員とのつながりや組織内での縦横の連携を強化するため、営農経済渉外員として、今後もそのパイプ役をしっかりと担っていきたい」と話した。